

男女共同参画会議 第16回重点方針専門調査会	資料10
平成30年9月26日	

(通し番号165・166)

「女性活躍加速のための重点方針 2018」

Ⅱ あらゆる分野における女性の活躍

3. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成

a) 女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進するためのアプローチ

(内閣府説明資料)

理工系分野における女性の活躍推進

(男女共同参画HP整備等経費、理工系分野における女性活躍事業費) (内閣府男女共同参画局総務課・推進課)

平成31年度概算要求額 0.3億円【うち優先課題推進枠0.1億円】(平成30年度予算額 0.2億円)

事業概要・目的

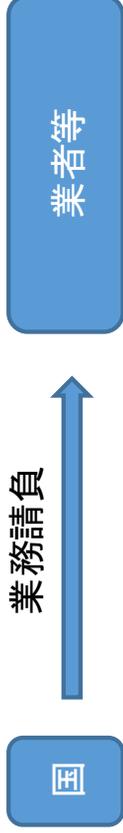
○我が国が国際競争力を維持・強化し、多様な視点や発想を取り入れて科学技術・学術活動を活性化していくためには、理工系分野の女性研究者・技術者となり得る人材を育成していく必要があります。

○平成27年12月に閣議決定された「第4次男女共同参画基本計画」においては、「科学技術・学術における女性の参画拡大」、「女性研究者・技術者が働き続けやすい研究環境の整備」及び「女子学生・生徒の理工系分野の選択促進及び理工系人材の育成」に取り組むこととしていきます。

○また、6月にすべての女性が輝く社会づくり本部で決定された「女性活躍加速のための重点方針2018」においても、理工系を始めとする科学技術・学術分野における女性人材の裾野拡大を更に加速させるとしています。

○さらに、新たに立ち上げたロールモデルとなる理工系分野で活躍する女性による組織体(STEM Girls Ambassadors)により、女子生徒等に対し、多様なロールモデルを見せるとともに、社会全体で支援していく気運を醸成します。(6/25官邸にてキックオフ)

資金の流れ



期待される効果

○産学官による連携体制を構築し、女子生徒等の理工系選択を促進する各事業を推進することで、理工系分野における女性活躍を推進します。

事業イメージ・具体例

夏のリコチャレ ※ウェブ中小等情報通信を実施
夏休み期間中、大学、企業、学術団体等がイベントを実施
・内閣府・文科省・経団連がサポート
・429業種125団体186イベントに約3,000名が参加(前年度比35団体42イベント参加者約12,000名増)

2,176千円(3,194千円)

夏のリコチャレ ※ウェブ中小等情報通信を
夏休み期間中、大学、企業、学術団体等がイベントを実施
・内閣府・文科省・経団連がサポート
・429業種125団体186イベントに約3,000名が参加(前年度比35団体42イベント参加者約12,000名増)

2,176千円(3,194千円)

シンポジウム
女子生徒等を対象とし、職業やロールモデル情報等を提供するシンポジウムを実施
・興味・関心を高めるとともに、理工系進路選択に関する理解を促進

3,591千円(3,591千円)

**理工系女子
応援ネットワーク**
リコチャレ応援団体のうち、具体的な支援を行っている団体179団体
H30.4月現在(前年度39団体増)

H30.4月現在(前年度39団体増)

**ウェブサイトを
「理工系チャレンジ」**
イベント情報、ロールモデル情報、団体からの応援メッセージ

1,399千円(1,399千円)

理工系女子応援会議
理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
・相互連携に向けた情報共有や取組方針を議論

1,399千円(1,399千円)

STEM Girls Ambassadorsによる全国理工系女性人材育成事業 12,662千円(0千円)
5,008千円(7,569千円)、調査研究に係る人件費3,881千円(3,881千円)
調査研究 進路検討前段階にある女子児童・生徒が、科学技術に興味を持つきっかけとなる機会及びプログラムの調査研究を行う

12,662千円(0千円)

○夏のリコチャレ、「理工系チャレンジ」に係る情報発信

○シンポジウム

- ・女子生徒等を対象に実施
- ・参加者数：300名程度

○理工系女子応援会議

○理工系等分野における女性活躍推進調査研究

○STEM Girls Ambassadorsによるワークショップ **【新規】**

- ・開催回数：12回
- ・開催時期：平成31年7月～12月
- ・参加者数：1,200名程度

理工チャレンジ

(リコチャレ!) ~女子生徒等の理工系への進路選択を促進~



現状

- ・大学(学部)の理工系の学生に占める女性の割合:理学系 27.2% 工学系 14.5%
- ・研究者の採用に占める女性の割合(自然科学系):理学系 15.6% 工学系 10.3%

(文科省「学校基本調査」平成29年)

(文部科学省調べ 平成27年)

科学技術・学術活動を活性化するためには、女性研究者・技術者の活躍を促進し、**多様な視点や発想**を取り入れることが不可欠です。
 科学技術系の進路への**興味関心や理解を向上**させるための取組を推進し、次代を担う女性の科学技術人材を育成します。

(第4次男女共同参画基本計画より抜粋・加筆)

根拠

第4次男女共同参画基本計画 : 第5分野 科学技術・学術における男女共同参画の推進 3.女子学生・生徒の理工系分野の選択促進及び理工系人材の育成
 女性活躍加速のための重点方針2018 : 3. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成 (6) 科学技術・学術分野における女性活躍の促進
 科学技術基本計画 : 第4章 科学技術イノベーションの基礎的な力の強化 (1)② i) 女性の活躍推進
 未来投資戦略2018 : 2. A時代に対応した人材育成と最適活用 2-1. A時代に求められる人材の育成・活用 (3) 新たに講ずべき具体的施策 ii) 初等中等教育段階におけるAI教育の強化
 骨太方針2018 : 第2章 力強い経済成長の実現に向けた重点的な取組 (2) 多様な人材の活躍 ① 女性活躍の推進
 G7シヤルルボワ・サミット : 女性の理系分野への進出

取組

夏のリコチャレ

2,175千円(3,194千円)

※ウェブサイト等情報発信含む

- ・夏休み期間中、大学、企業、学術団体等がイベントを実施
- ・内閣府・文科省・経団連がサポート
- ・H29実績125団体186イベントに約23,000名が参加(前年度比35団体42イベント参加者約12,000名増)

シンポジウム

3,591千円(3,591千円)

- ・女子生徒等を対象とし、職業やロールモデル情報等を提供するシンポジウムを実施
- ・興味・関心を高めるとともに、理工系進路選択に関する理解を促進

リコチャレ応援団体

理工チャレンジの趣旨に賛同する

大学・企業・学術団体等 **732** 団体
 H30.4月現在(前年度38団体増)

理工系女子 応援ネットワーク

リコチャレ応援団体のうち、具体的な支援を行っている団体 **179** 団体
 H30.4月現在(前年度39団体増)

ウェブサイト

「理工チャレンジ」

- ・イベント情報
- ・ロールモデル情報
- ・団体からの応援メッセージ



1,399千円(1,399千円)

理工系女子応援会議

- ・理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
- ・相互連携に向けた情報共有や取組方針を検討

新規



STEM Girls Ambassadorsによる全国理工系女性人材育成事業 12,662千円(0千円)
 全国27都市にて、ワークショップを開催(指定都市10市、中核市2市)

調査研究

5,008千円(7,569千円)、調査研究に係る人件費:3,881千円(3,881千円)
 進路検討前段階にある女子児童・生徒が、科学技術に興味を持つ端緒となる機会及びプログラムの調査研究を行う